



疑問や情報をお寄せください。

みなさんからの情報や疑問をきっかけに調査します。

QRコードから「これ知りたい」「あれに困っています」をお寄せください。

「住民こそ主人公」



「きずな」の定期配布
「きずな」は、市政や市議会など身近な情報を提供する地域情報紙をめぐっています。定期的な配布(無償) 希望の方は連絡を下さい。

第961号

2021年6月13日(日)

発行 日本共産党井上かつひろ事務所
薩摩川内市樋脇町塔之原 10439

TEL 38-0237 携帯 080-3996-0237

井上かつひろ市議の二般質問は17日木曜(二面)

薩摩川内市 SDGs 推進、脱炭素宣言

薩摩川内市は、6月8日、国際的な目標の持続可能な社会をめざすSDGsの推進と脱炭素社会をめざす「薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言」を行いました。今後、推進組織を設置し、2025年度の第3次総合計画に反映するための作業が行われます。

SDGsとは、「誰一人取り残さない」という理念で、「世界から貧困をなくす」「持続可能な社会をめざす」国際的目標です。SDGs宣言は、市民・事業者と行政が一体になって、持続可能なまちづくりをめざそうというものです。

また、カーボンニュートラル宣言とは、2050年までに本市の二酸化炭素排出量の実質ゼロを目標に、市民事業者、行政が一体になろうという宣言です。これらの宣言は、今年



脱炭素宣言の陳情を提出した
中川功氏(入来町)のコメント

「今年の3月議会に薩摩川内市がゼロカーボンシティ宣言を上げて頂くことを陳情し、全会一致で採択され大変喜んで

の出されたことよって行政と企業と市民が一体になって生活を見直し、地球温暖化の原因になっている二酸化炭素を減らし、プラスチックごみを出さず次世代に美しい環境を残していければと思います。ただ、脱炭素が原子力エネルギー推進ということにならないことを願います。」

力発電の推進の口実にされないかの監視が必要です。原発は、建設時や燃料製造の過程などでCO2を排出し、事故を起こせば環境を破壊します。

新型コロナウイルス

ワクチン集団接種会場

65歳以上(令和3年度中に65歳以上になられる方を含む)の市民を対象に集団接種が行われます。接種については、事前の予約が必要です。なお、既に医療機関にワクチン接種を予約されている方につきましては、集団接種の予約はできません。

検査後進国

こちらくらしの相談所 (No. 462)

なんでもご相談ください。
携帯 080(3996) 0237

という特徴があります。日本共産党は、感染リスクの高い医療機関、高齢者施設、障害者施設、学校などで定期的に社会的検査実施を訴えてきました。鹿児島県は「無症状者の検査は費用対効果が薄い」と何もしてきませんでした。ところがここにきて県は高齢者施設に抗原検査キットを配布するようです。抗原検査とはPCR検査よりも感染している

(接種会場)

川内保健センター

6月12日(土)、13日(日)、16日(水)、23日(水)、24日(木)、26日(土)、27日(日)、30日(水)

樋脇保健センター

6月20日(日)、6月27日(日)

樋脇公民館

6月20日(日)、6月23日(水)、6月30日(水)

入来文化ホール別館

6月16日(水)、6月30日(水)、7月4日(日)

東郷保健センター

6月20日(日)

祁答院保健センター

6月27日(日)、7月10日(日)

(注意事項)

※集団接種予約後に、病院での個別接種を受けることになった場合などは、薩摩川内市コールセンター0500(3850)0018 8時半~17時半へ必ず連絡しキャンセルを。 ※お手元に接種券をご用意され、接種券ID番号(10桁)、氏名、生年月日をお伝えください。

来週の民報きずなは休みます。

6月議会での井上かつひろ市議の一般質問

日本共産党の井上かつひろ市議は、6月17日（木）5番目に一般質問（個人質問）を行います。14時〜15時ごろから始まります。傍聴席は本庁4階です。ぜひ議会傍聴へおいでください。

1. 新型コロナウイルス対策について

(1) 県高校総体男子バドミントン競技大会でのクラスターについて
 ア、コロナ対策を徹底したにもかかわらずクラスターが発生した。換気の徹底問題があるのではないかと。医療機関、高齢者施設、学校、飲食店など換気対策のためCO2モニターの配布や無償貸付ができていないか。
 イ、ワクチン接種を迅速に進めるためにも発生したことに関連して

(2) 県内病院で医療従事者のワクチン接種が進む中でクラスター発生したことに関連して

ア、ワクチン接種を迅速に進めるためにも接種後に具合が悪くなり、医療機関を受診した際は、医療費を免除する考えはないか。
 イ、本市におけるワクチンの余剰に対する対応指針の対象の中に、障害者福祉施設の利用者や従事者を加える考えはないか。
 ウ、高齢者施設へ県が配布する抗原検査キットの数は全くなりていない。大量配布を要請する考えはないか。
 エ、医療機関、高齢者施設、障害者施設への新規入院・入所者へのPCR検査を無償にできないか。
 オ、無症状者のPCR検査を無償に
 カ、十分な補償と生活支援について
 (ア) 公共施設の使用制限によって収入が減少した人への収入補償する考えはないか。
 (イ) 「無償商品券＋プレミアム商品券」を実施する考えはないか。
 (ウ) 国保税の特例減免について、持続化給付金を収入に認める



エプロンおばさんの簡単クッキング (527)

冷やし中華のタレ

(材料)

- (A) さとう、酢、しょうゆ、水……各 1/2 カップ
- (B) 白ごま、練がらし、ごま油……適量

つくりかた

- ① (A) と (B) を混ぜ合わせる。
- ② ソーメンを固ゆでし、皿に盛る。キュウリ、もやし、ハムの細切り、錦糸たまご、紅ショウガのスライスをして①のタレをかけてどうぞ。ソーメンだと食べやすいです。

2. 川内原発稼働延長について

(1) 九電社長が述べた特別点検の検討について、市長の受け止めは
 (2) 県民世論調査で59%が稼働延長反対であるが、市長の受け止めは
 (3) 薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言の中で、原発をどうのうに位置付ける考えか。
 (4) 原発立地自治体の多くは、他市より人口減少が大きいという認識を持っているか。
 (イ) 選手等外国人と接触可能性のある日本人の内訳と人数は
 (ウ) (イ) の内訳別コロナ対策は
 イ、事前キャンプにより市民の応援が加熱し、感染リスクが高まることはないか
 ウ、コロナ禍での事前キャンプ受入れのメリットがあるという考えか。
 エ、代表チームとの話し合いで事前キャンプを中止する考えはないか。

3. 小中学校の女子トイレに生理用品（無償）を置けないか。

「生理の貧困」が言われ、生理用品を配布するなどの支援を行うか、検討している自治体は少なくとも255に上っている。本市でも学校や公共施設の女子トイレに生理用品を置いて無償配布する考えはないか。

中俣先生のつれづれなるままに (653)



←中俣先生のブログはこちら

今年に入ってから、きずな、"こちくら"にわが集落の暮らしにかかわる事案が二つ持ち込まれた。一つは、民家の木が歩道にさしかぶって歩きにくいから伐つて欲しいという事案。もう一つは、道路に生えている草をくくって通路をふさぎ、転びそうになったという事案。二つとも私の通勤沿いにあるので、私自身も気になってきた。一つ目は、集落の分裂騒動で法律論で応じられた方の木で、難しいとは思いつつも相談に行つた。案の定、「法的には」と例の法律論をかざして、「主人の許可がないと伐れませんよ」ということだつた。そのご主人は寝たきりで、こちらとて会話ができない。というわけで退散。もう一つは子どもがいたずらというところだつたが、私が小さいころ、父が歩きやすいように草をくくっていたので、そうだろうと思つた。だが、ことが事故につながることにだけに関心して、切らぬ急処置をした。更に、「こちくら」ではそこまでやらなくてものことだつたが、場所がバス停のところだつたので、後日草刈り機で刈つた。何しろ、「こちくら」は住民の暮らしを守る若だけにいつまでも放置できない。放つて置くと、「こちくら」も当てにならないとなる。そうなるはいけない。今後とも、どんな小さいことでも暮らしに困つていれれば、「こちくら」に申し出て欲しい。きずな、用にとブログを開設してくださつた恩もありに、梅雨空に清々した気持ちで気がついていった。(高来児童クラブ支援員)

